

基本方針

～課題多き時代の変化をチャンスと捉え、未来へ希望を持ったまちづくりを目指して～

問い合わせ

政策推進課 ☎38-2127



今、いくつもの危機が同時多発的に襲来しています。全国的な人口減少と少子高齢化の進展、地球温暖化の進行、災害の頻発・激甚化、そして新たな感染症の影響等により市民生活や企業活動、行政運営など領域を問わず、将来への不確実性が増大しています。その中で加速するデジタル化やSDGsの考え方の浸透など、社会情勢の変化も踏まえ、先送りすることなく直面する課題に立ち向かうとともに、時代の変化に応じた未来への投資により、変革の礎を早急に築くことが必要です。

新型コロナウイルス感染症に対しては、国の新興感染症対策等も踏まえつつ、この困難を乗り越え、新たな生活様式と調和する社会経済活動を前進させることでポストコロナの未来を切り拓いてまいります。

また、新たに策定いたしました「第5次芦屋市総合計画」および「第2期芦屋市創生総合

戦略」を一体的に取り組み、「子育ての希望がかなうまちづくり」と「人がつながり活躍し、暮らしの魅力を高めるまちづくり」を2本の柱として戦略的に推進するとともに、「新行財政改革」にも引き続き取り組み、変化する社会情勢への対応と将来への持続可能な行政運営に向けた前例にとらわれない業務全体の変革を重点的に進めてまいります。

具体的には、ICT技術の活用による市民サービスの向上や福祉の充実により今を守ることに加え、市民の皆さまに未来への希望を届ける事業としてJR芦屋駅南地区再開発事業にもしっかりと取り組み、先人たちが築いてきたまちの魅力を継承しながら、「市民が主役」を念頭に、OPENなマインドでこれからの芦屋市を市民の皆さまと共に創る、「共創」を進めてまいります。

芦屋市長 いとうまい

主な事業と取り組み

～芦屋の未来を創り出す第一歩～

子育て・教育

- ◆認可保育所等医療的ケア児教育・保育支援事業 (840万3千円)
安心安全な教育・保育を実施するため、医療的ケアを必要とする子どもが在籍する認可保育所等に看護師を配置または派遣し医療的ケアを行います。
- ◆精道中学校建替工事 (13億365万6千円)
体育館棟の新設とグラウンド等の整備を実施します。
- ◆美術博物館改修工事 (2億6,680万円)
7月ごろ～令和5年3月に一時休館し、老朽化した屋根やトイレ、空調、換気設備等の改修工事を行います。
- ◆谷崎潤一郎記念館改修工事 (4,220万円)
7月ごろ～令和5年3月に一時休館し、老朽化した空調・換気設備やトイレ等の改修工事を行います。
- ◆大学等受験料支援金制度の創設 (500万円)
経済的な理由により、大学等への進学をあきらめることがないよう、受験生をサポートするためこれまでの入学支度金制度に加え、新たに大学等受験料支援金制度を創設します。
- ◆図書貸出券とマイナンバーカードのワンカード化事業 (168万6千円)
マイナンバーカードを図書貸出券として利用することが可能になります。阪神7市1町でワンカード化を実施している図書館でも利用できるようになります。
- ◆認可保育所等インクルーシブ教育・保育事業 (1億774万円)

- ◆病児・病後児保育事業の実施 (3,099万3千円)
- ◆打出教育文化センター・打出分室大規模改修工事の設計 (1,860万円)
- ◆ICTを活用した就学前教育・保育事業
- ◆GIGAスクール構想の推進

福祉健康

- ◆重層的支援体制整備事業 (1,005万円)
人と人とのつながりを再構築し、孤立せずにその人らしい生活を送ることができる社会を目指すため、相談支援や地域づくり支援の取り組みを基盤に多機関協働機能・参加支援機能・アウトリーチ機能を担う福祉専門職を配置します。
- ◆家計改善支援事業 (548万8千円)
家計改善支援を行う相談員を配置し、家計に課題のある相談者に対し、生活支援と一体的に家計管理や滞納解消、債務整理等に向けた支援を行います。
- ◆子宮頸がん予防(HPV)ワクチンキャッチアップ接種事業 (1億3,110万6千円)
積極的勧奨の差し控えにより接種を逃した平成9年度～17年度生まれの女性で未接種の人は、4月～令和7年3月に市内の医療機関で無料で接種できます。
- ◆新型コロナワクチン接種事業(1億9,811万4千円)
- ◆60歳の歯科健診(節目健診) (86万5千円)
- ◆計画相談支援事業所等の人材確保支援事業 (600万円)
- ◆ヤングケアラーの支援

市民生活

- ◆地域脱炭素に向けた調査等検討業務 (650万円)
市域全体の温室効果ガス排出量や地域の再生可能エネルギー導入の可能性を調査します。脱炭素に向けた課題の整理と道筋を検討します。
- ◆指定ごみ袋導入に伴う環境問題啓発事業 (495万5千円)
二酸化炭素排出量や焼却灰を減少させるため、指定ごみ袋の導入を進めます。ごみの捨て方等を周知し、ごみの減量を図るために、家庭ごみハンドブックを全面改訂し、全戸配布します。
- ◆一般住宅向けの省エネルギー設備導入補助・事業者向け次世代自動車導入補助
- ◆「中小企業・小規模企業振興基本計画」の策定

安全安心

- ◆芦屋川無電柱化事業 (8,400万円)
芦屋市無電柱化推進計画の短期目標路線である国道43号以南の右岸線および鶴塚橋(ぬえづかばし)を無電柱化します。
- ◆通学路路肩カラー化工事 (900万円)
市道192号線・321号線(精道小学校通学路)、市道504号線(朝日ヶ丘小学校通学路)、市道243号線(山手小学校通学路)の4路線のカラー化(合計1.5キロメートル)を行います。
- ◆急傾斜地崩壊防止工事 (2,750万円)